

『正直』 作：ポチ子

『正直』 作：ポチ子

正直でいたかった。

正直でいることは、

正しいことだと教わったから。

だから、

毎日息を吸って吐くことも、

悪いことをしている気分だ。

朝は、行きたくもない仕事に行く。

昼は、安いカップラーメンを食べる。

夜は、テキトーなパジャマを着て寝る。

次の日は、知らないことを聞かれて、

分かっているフリをした。

また次の日は、

面白くもない話をする人に、

愛想笑いをしておいた。

正直な事を言うと、

正直に生きないほうが、

私の世界はうまく回ったりする。

でも、悪いことをしている気になるのだ。

いつも、いつも。